

## 令和8年度全国学力・学習状況調査

# CBTでの実施に向けた各小中学校での準備について

### 目 次

#### 1 各学校等をお願いしたい事前準備(概要)

#### 2 事前準備の詳細

1. 学校のネットワーク・端末の確認
2. MEXCBT活用の流れ・注意事項
3. 英語CBT実施に向けた事前準備・検証
4. 児童質問調査に向けた事前接続テスト

#### 3 参考資料



令和7年12月

文部科学省総合教育政策局参事官（調査企画担当）付学力調査室

**1**

## 各学校等にお願いしたい事前準備(概要)



# 1 各学校等にお願いしたい事前準備(概要)

(赤字が令和7年度からの変更点)

## 小学校等

	オンライン調査 本番の実施日程	オンライン方式で 活用するシステム	小学校等における 事前準備
児童質問調査	4/24(金)～5/8(金)のうち、 文部科学省から指定された日※	MEXCBT	(1) 学校のネットワーク・端末の確認 (2) MEXCBT活用の流れ・注意事項 (4) 児童質問調査に向けた事前接続テスト
学校質問調査	4/1(水)～4/17(金)のうち任意の日 (実施日の報告等は不要)	委託事業者の Webシステム	(令和7年度調査と同様)

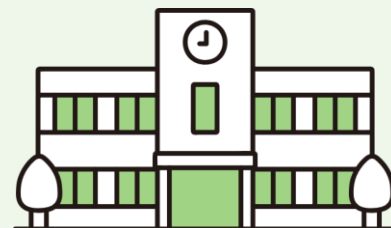
## 中学校等

	オンライン調査 本番の実施日程	オンライン方式で 活用するシステム	中学校等における 事前準備
生徒質問調査	教科調査 英語「聞くこと」「読むこと」「書くこと」 の実施日と同じ	MEXCBT	(1) 学校のネットワーク・端末の確認 (2) MEXCBT活用の流れ・注意事項 (3) 英語CBT実施に向けた事前準備・検証
教科調査 英語 「聞くこと」「読む こと」「書くこと」	4/20(月)～4/23(木)のうち、 文部科学省から指定された日※ (4/24(金)は予備日)		
教科調査 英語 「話すこと」	4/24(金)～5/29(金)のうち、 文部科学省から指定された日※ (4/24(金)、4/27(月)は文部科学省が選定 した当日実施校のみが実施)		
学校質問調査	4/1(水)～4/17(金)のうち任意の日 (実施日の報告等は不要)	委託事業者の Webシステム	(令和7年度調査と同様)

※実施希望日を、令和8年1月7日～16日で実施するCD調査（各学校等の学校基本情報確認を行う）で調査します。  
決定した実施日は2月頃にWebシステムにてお知らせする予定です。

## **2** 事前準備の詳細

### **1. 学校のネットワーク・端末の確認**



# 1. 学校のネットワーク・端末の確認

教育委員会・学校は、日頃より学校のネットワークや端末を不具合なく活用できていることを確認してください。

- **教育委員会は**、「学校の不具合情報が共有されているか」「不具合が解消されているか」等の確認の他、このような**不具合が起きていないかを主体的に確認し、不具合の解消に対応**することが重要。
- **学校は**、日常的に端末を使用している際に、「ネットワーク・端末に不具合がないか」「活用に支障をきたしていないか」等の観点で確認するとともに、**不具合等がある場合は教育委員会に情報を伝えることが重要**。



日常的に端末を不具合なく活用できていることが、CBTの実施においても、大きなトラブルが無く実施できることに繋がると考えられる。

## 事前に確認すべき事項

### ① ネットワーク

- **各学校のネットワークの不具合の有無**  
同時に全ての授業において、多数の児童生徒が高頻度で端末を活用しても、「ネットワークが遅い」「繋がりにくい」等といった不具合が起きていないかどうか
- **各学校のネットワークの実効帯域**  
文部科学省が示した「当面の推奨帯域」を満たしているか（「当面の推奨帯域」を満たしていなくてもCBTのみの実施が可能な場合もある。）

### ② 端末

- **端末の不具合の有無**  
端末を日常的に活用する中で、「端末の動作が遅い」「故障していて使えない」等といった不具合が起きていないかどうか。



詳細は「学校のネットワーク改善ガイドブック」を参照すること



事前検証においてネットワークや端末を不具合なく実施できているか確認してください。

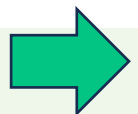
**令和7年度CBT試行・検証で見られたトラブル例**

全国の小・中学生約4,000人を対象として、オンライン方式での調査に向けた学校のICT環境、実施方法や学校支援方策、問題等について、令和7年度に試行・検証を実施したところ、以下のようなトラブルが見られた。

なお、令和7年度中・令和8年度当初に端末更新を行う場合、更新後の端末において、以下のトラブルが発生しないかに留意することが重要となる。

**ネットワークのトラブル例**

- ・回線速度が遅く、問題ページの移動に時間がかかることやページ更新が複数回必要となった。



**P7,8を参考に、学校ネットワークに問題がないか、事前に確認ください。**

**端末のトラブル例**

- ・キーボードが故障しており、入力できない文字がある生徒がいた。
- ・端末のマイク機能が故障しており、録音できなかった。
- ・OSのアップデートがされていなかったため、途中で複数回端末の動作が止まった。
- ・故障した端末の修理が出来ておらず、校内で端末が不足していた。
- ・カメラが起動せず、調査に必要なQRコードの読み込みができなかった。



**P9,10を参考に、使用する端末に不具合や故障がないか、事前に確認ください。**

**フィルタリングのトラブル例**

- ・フィルタリングの影響で、問題の画像や動画が表示されず、複数の教育委員会・学校で調査が実施できなかった。



**P11を参考に、MEXCBTを実施する上でフィルタリングソフトに問題がないか、事前に確認ください。**

**調査実施時のトラブル例**

- ・ヘッドセットの端子がしっかり挿入されておらず、音声再生や録音に支障が生じた。
- ・端末を自宅に忘れた生徒について、調査が実施できなかった。



**調査実施本番で気を付けるべきポイントについては、実施マニュアルでまとめます。**

## 中学校のネットワークの実効帯域



**学校の設置者（教育委員会等）のICT担当者にも相談の上、確認してください。**

各学校のネットワークの実効帯域が、全国学力・学習状況調査「中学校英語」をCBT方式で実施するために必要な帯域を満たしているか、確認してください。英語「話すこと」については、MEXCBTにおいて録音した音声をアップロードするため、上りについても必要帯域（目安）がございました。

## 【最低動作環境の目安（下り）】

**学校の実効帯域  $\geq$  調査に参加する生徒数  $\times$  0.5Mbps\***

\*0.5Mbpsは、令和8年度CBT中学校英語(サンプル問題、本番の調査問題) 問題動画を閲覧する際に必要となる帯域の目安。

## 【最低動作環境の目安（上り）】

**学校の実効帯域  $\geq$  調査に参加する生徒数  $\times$  0.6Mbps\***

\*0.6Mbpsは、令和8年度CBT中学校英語「話すこと」(サンプル問題、本番の調査問題) で、録音データを提出する際に必要となる帯域の目安。

※上記式では、最低動作環境という趣旨で、“調査に参加する生徒数”として計算している。当然ながら、同一時間帯に他の学級が端末を使用する場合は、その学級が使用する帯域を考慮する必要がある。

※実効帯域の確認方法について不明な点がある場合は、各自治体のICT担当に相談してください。

- 最低動作環境の目安を下回る場合であっても、直ちに「中学校英語」をCBT方式で実施することができないものではありません。重要なのは、調査に参加する生徒全員が、ネットワーク環境に不具合がない状態で本番の調査問題に取り組めるかどうかです。**このことを2,3月の事前検証の中で確認していただくようお願いします。**
- 逆に、最低動作環境を満たしていても、校内ネットワークの不具合により正常に接続できない事象が有り得ます。**調査に参加する生徒が同時に事前検証問題にアクセスしても支障が無いことを確認してください。**

## 小学校のネットワークの実効帯域



**学校の設置者（教育委員会等）のICT担当者にも相談の上、確認してください。**

小学校のネットワークの実効帯域が、全国学力・学習状況調査「児童質問調査」をCBT方式で実施するために必要な帯域を満たしているか、確認してください。

## 【最低動作環境の目安（下り）】

$$\text{学校の実効帯域} \geq \text{調査に参加する児童数} \times 0.3\text{Mbps}^*$$

\*0.3Mbpsは、令和8年度児童質問調査で画像を閲覧する際に必要となる帯域の目安。

※上記式では、最低動作環境という趣旨で、“調査に参加する生徒数”として計算している。当然ながら、同一時間帯に他の学級が端末を使用する場合は、その学級が使用する帯域を考慮する必要がある。

※実効帯域の確認方法について不明な点がある場合は、各自治体のICT担当に相談してください。

- 最低動作環境の目安を下回る場合であっても、直ちに「児童質問調査」をCBT方式で実施することができないものではありません。逆に、最低動作環境を満たしていても、校内ネットワークの不具合により正常に接続できない事象が有り得ます。**事前接続テストにおいて、アクセスに支障がないか、画像が表示されるかについて確認してください。**
- 普段から複数クラスで同時に端末を活用する際に不具合が発生していないかを確認することも重要です。日常的に端末を使用する際に、学年全体での使用に支障がある場合等については、時間を分けて実施いただくことも検討ください。
- また、**令和9年度より、小学校の教科調査においても全面CBT化することから、P7で示している下りの実効帯域が必要になりますので、ご注意ください。**





### 使用する端末の不具合の確認

CBTで使用する端末に「端末の動作が遅い」「故障していて使えない」等といった不具合が起きていないかの確認を行う必要があります。端末交換等には時間がかかるため、早めの対応が必要です。「速やかに確認すべき事項」「調査前日までに確認すべき事項」をまとめましたので、対応していただくようお願いします。

なお、2月からの事前検証の実施にあたっては、本事項を参考に準備を進めてください。また、事前検証にて不具合が判明しましたら、早急に対応ください。

#### 事前検証、調査本番までに速やかに確認して対応すべき事項

確認事項	対応例	確認を怠ると生じうる不具合の例
端末に不具合が無いかの確認	<ul style="list-style-type: none"><li>• 端末（バッテリー、画面、キーボード、カメラ、オーディオ等）の故障がないかを確認する。</li><li>• 端末の動作が重い場合は、不要なソフトウェアを削除する。</li><li>• アップデートや設定変更を反映するために端末を再起動する。</li></ul>	<ul style="list-style-type: none"><li>• 端末の故障により、調査を正常に実施できない。</li><li>• 端末の動作が重く、調査を正常に実施できない。</li><li>• アップデートや設定変更が反映されない。</li></ul>
Webブラウザ・OSのアップデート	<ul style="list-style-type: none"><li>• 各端末でWebブラウザ・OSが最新であることを確認し、最新でない場合はアップデートを実施する。</li><li>• 調査中にアップデートが実施されないよう、アップデートの時間帯の調整や使用帯域の制限を行う。</li></ul>	<ul style="list-style-type: none"><li>• MEXCBTがWebブラウザ上で動作しない。</li><li>• 端末の動作やネットワークが重くなる。</li></ul>
フィルタリングソフトの設定*	<ul style="list-style-type: none"><li>• フィルタリングソフトをアップデートして、バージョンを最新に更新する。</li><li>• MEXCBTで画像や動画が閲覧できない場合は、フィルタリングの設定を確認する。</li></ul>	<ul style="list-style-type: none"><li>• MEXCBTにアクセスできず、調査が実施出来ない。</li><li>• 画像や動画が表示できない。</li></ul>
MEXCBTへの接続確認	<ul style="list-style-type: none"><li>• MEXCBTに接続できることを確認する。</li><li>• 調査対象生徒全員分のアカウントを割り当てているか確認する。</li></ul>	<ul style="list-style-type: none"><li>• MEXCBTにアクセスできず、調査が実施出来ない。</li><li>• 同じアカウントを共用すると、解答が上書きされる。</li></ul>
ヘッドセット・イヤホンの動作確認	<ul style="list-style-type: none"><li>• 前回の「話すこと」調査（令和5年度）で使用後、各中学校等で保管・活用されているヘッドセットが使用できるか確認する。</li><li>• 調査で使用予定のヘッドセットやイヤホンが使用できるか確認する。</li><li>• 端末において、マイク・ヘッドフォン端子（4極）が使用できるか確認する。</li><li>• 変換アダプタを使用する場合は、初期不良がないか等を確認する。</li></ul>	<ul style="list-style-type: none"><li>• ヘッドセット・イヤホンの使用可能数に応じて、英語調査の実施方法に変更するが生じる。</li><li>• マイクが故障していると、音声データが取得できない。</li><li>• 配布するヘッドセット（4極）が使用できない。</li></ul>



### 使用する端末の不具合の確認

事前検証、調査本番の**前日まで**に確認して対応すべき事項

確認事項	対応例	確認を怠ると生じうる不具合の例
予備端末の準備	<ul style="list-style-type: none"><li>調査当日のトラブルに備えて、予備の端末を用意しておく。</li></ul>	<ul style="list-style-type: none"><li>端末にトラブルが生じた生徒が調査を実施できない。</li><li>端末を自宅等に忘れた生徒が調査を実施できない。</li></ul>
カメラの動作確認	<ul style="list-style-type: none"><li>カメラのアプリを立ち上げて、QRコードを読み取れるか確認する。</li></ul>	<ul style="list-style-type: none"><li>生徒が自分の答案番号を読み込めなくなる。</li></ul>
ブラウザの拡大率・文字サイズ	<ul style="list-style-type: none"><li>ブラウザの拡大率が「100%」（元のサイズ）、文字サイズが「規定のサイズ」になるよう設定する。</li></ul>	<ul style="list-style-type: none"><li>問題文や図表等が適切な大きさで表示されない。</li></ul>
スリープ機能等の設定	<ul style="list-style-type: none"><li>自動画面オフ、スクリーンセーバー、スリープ機能の時間設定等を解除する。</li></ul>	<ul style="list-style-type: none"><li>操作しない間にログアウトしてしまう場合がある。</li></ul>
充電	<ul style="list-style-type: none"><li>端末を充電する。</li></ul>	<ul style="list-style-type: none"><li>調査中にバッテリー切れとなり端末が使えなくなる。</li></ul>
使用しないWebページやアプリを閉じる	<ul style="list-style-type: none"><li>端末のメモリ負荷や通信負荷を軽減するため、使用しないWebページやアプリを閉じる。</li></ul>	<ul style="list-style-type: none"><li>端末の動作やネットワークが重くなる。</li></ul>
再起動	<ul style="list-style-type: none"><li>端末の再起動をする。</li></ul>	<ul style="list-style-type: none"><li>端末の動作が重く、調査を正常に実施できない。</li><li>アップデートや設定変更が反映されない。</li></ul>

※令和7年度中に端末更新を行う場合、特に年度末にかけて端末更新を行う場合には、更新後の端末について、確認することが重要となります。

端末更新後に事前検証が実施できるよう、調整ください。なお、端末更新後の生徒による事前検証が難しい場合には、教員等が少なくとも生徒端末1台を用いて、問題なく実施できることを確認ください。



### フィルタリングソフトの設定



フィルタリングソフトの設定により、MEXCBTにて画像・動画が表示されず、調査が実施できない現象が、令和7年度中学校理科や令和7年度CBT試行・検証において、複数の教育委員会・学校で発生しております。

**中学校においては事前検証で、小学校においては事前接続テストで、MEXCBTにて画像・動画が問題なく表示されることを必ず確認ください。**

**学校単位、教育委員会単位で画像・動画が表示されない場合は、フィルタリングソフトの設定による影響の可能性が高いため、ICT担当者とも協力して、調査実施までの改善をお願いします。**

※各教育委員会、学校によって、使用しているフィルタリングソフトが異なることから、以下の対応例については参考としてください。

#### 【改善した対応例】

##### ①フィルタリングのホワイトリスト設定

フィルタリングによるMEXCBTの正常な動作確保のため、「\*.mexcbt.mext.go.jp」に対して Web フィルタ、SSL検査、大容量通信・ファイルアップロード・画像／動画取得等の通信制限を除外する設定。

（対象ドメイン配下の全サブドメインを含みます）

##### ②フィルタリングのアップデート

フィルタリングソフトをアップデートして、バージョンを最新のものに更新。

##### ③証明書を更新

証明書警告が表示された端末の証明書を最新のものに更新。

##### ④SSLデコード除外設定（一時的な方法）

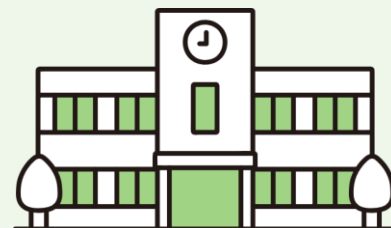
SSLデコードの設定に「mexcbt.mext.go.jp」のドメインを追加。

##### ⑤フィルタリングソフトの解除（最終手段）

調査実施日に限り、調査実施校のフィルタリングソフトを解除。

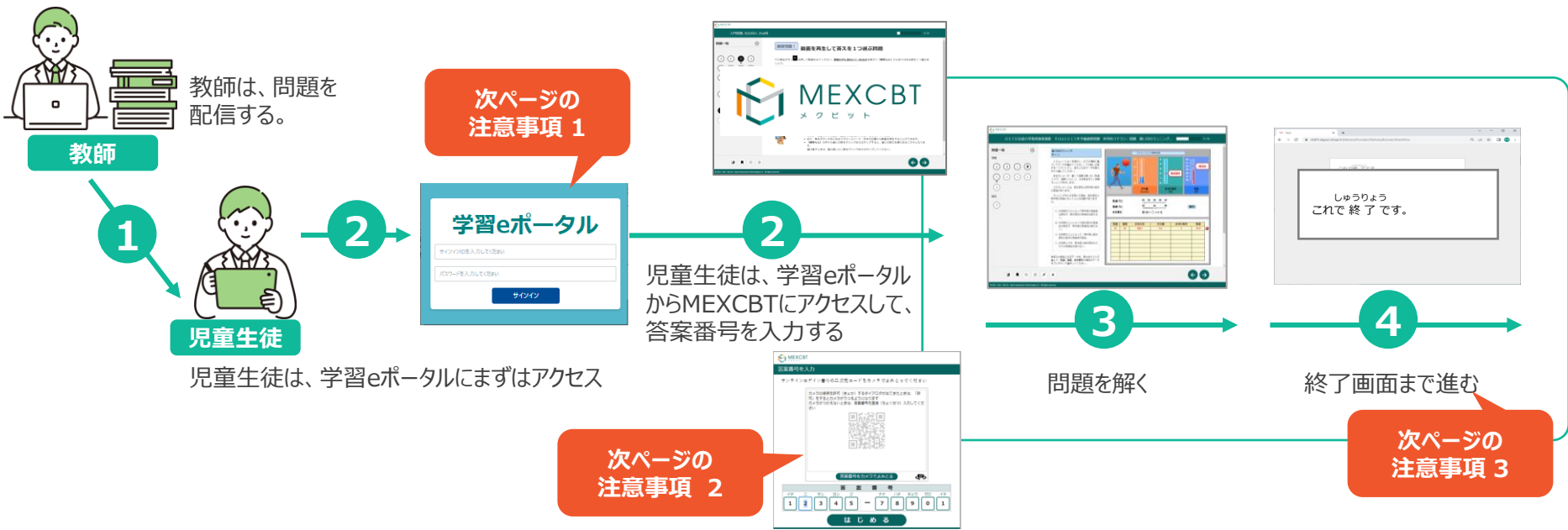
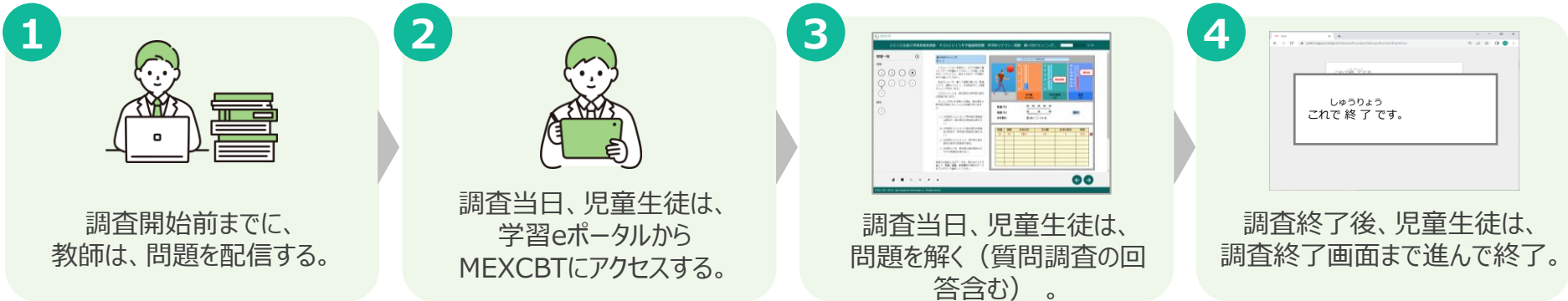
## **2** 事前準備の詳細

### **2. MEXCBT活用の流れ・注意事項**



① 全国学力・学習状況調査をMEXCBT上で実施する際の一連の流れ

MEXCBTは、活用する基本的な流れは以下のとおり。



## ② 全国学力・学習状況調査をMEXCBT上で実施する際の注意事項

MEXCBTでの調査を実施するに当たっては、以下の事項にご注意ください。結果を正しく返却できなくなります。

**注意事項 1**  
学習eポータルアカウントについて

## ● 学習eポータルのアカウントは必ず一人一人に割り当てられたものを使用してください。

- 学習eポータルのアカウントは共用せず、**必ず1人につき1アカウント**を割り当てます。(学習eポータルのアカウント毎に、MEXCBTに答案用紙(答案データ)が作成されます。)
- 同じ学習eポータルアカウントを使用して複数回解答する場合は、解答が上書きされてしまうため、複数人で同じアカウントを使い回さず、自分のアカウントを利用してください。
- 教員は、生徒が調査で利用するアカウントで問題の確認等を絶対にしないでください。
- アカウントの追加発行には時間がかかる場合があるので、極力早期に実施をしてください。

**注意事項 2**  
答案番号

## ● 答案番号を誤ると調査実施や結果返却を行えなくなるため、誤った答案番号を入力しないでください。誤りを防ぐため、答案番号は二次元コードの読み取りにより入力してください。

- 調査問題へ解答する際には、最初に答案番号の入力画面が表示されます。
- 答案番号は本調査固有の番号となり、事前に調査問題に設定されている番号でのみ、解答を開始することができます。誤った番号を入力した場合は、エラーとなり解答に進むことができません。また、他の生徒の答案番号を入力すると、結果返却を正しく行えなくなります。
- 教員は、生徒が調査で利用する答案番号で問題の解答等を絶対にしないでください。
- 本調査においては生徒ごとに配付する答案番号票に記載されている二次元コードを読み取ることで、正しい答案番号を入力することができます。

**注意事項 3**  
調査終了時

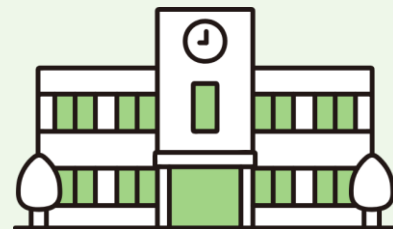
## ● 調査終了時には必ず左記のページが表示され、提出がされたことを確認してください。

- 最後に「これで終了です。」という画面まで進まないと、解答データが提出されません。**解答データが提出されなかった場合、採点・結果返却が出来ないため、必ず生徒によって終了ボタンが押され、提出されたことを確認してください。**

## 2

## 事前準備の詳細

### 3. 英語CBT実施に向けた事前準備・検証





## ①ヘッドセットの準備・グループ分け

## 必要な事前準備

- ✓ 中学校英語「話すこと」「聞くこと」の調査は、ヘッドセット・イヤホン等を使用して実施します。
- ✓ 10月に「**ヘッドセットの保有数等調査**」を実施して、各学校のヘッドセット保有数を確認しましたが、**D調査（各学校等の学校基本情報確認を行う）**にて、参加予定生徒数や**使用可能な**保有ヘッドセット数の最終確認をします。

## 【ヘッドセットの配布スケジュール(予定)】

1月7日～16日 D調査

2月～ ヘッドセットの発送(事前検証の実施日までに送付予定)

- ✓ **D調査の回答までに、サンプル問題に取り組んだり、教員業務支援員等と協働したりするなどで、保有しているヘッドセットが使用可能なことを改めて確認ください。**
- ✓ また、ヘッドセットが届いたら、ヘッドセットやイヤホンが、実施に必要な数（中学校英語調査対象生徒の最低1/3以上）が確保できているか、問題なく使用できるかを**事前検証等で確認してください。**

## ※資料2-2 (P.3) 再掲

## &lt;ヘッドセットの配布について&gt;

- 前回の「話すこと」調査（令和5年度）で使用後、各中学校等で保管・活用されているもの（以下「令和5年度ヘッドセット」という。）の利用を前提としつつ、各学校における保有数等を調査し、不足分を配布する予定です。
- 調査当日に、全学校で各学校の保有数が、**少なくとも調査対象生徒の1/3以上となるように、配布予定**です。  
また、10月下旬のヘッドセット保有調査の結果を踏まえると、令和5年度ヘッドセットや学校独自のヘッドセットを**一定数保有している場合は、追加配布によって、調査対象生徒の1/2の数となるよう不足分を配布できる可能性があります。**  
ただし、各学校への追加配布数は、調査対象生徒の1/3以下を想定しています。  
**（実際の配布数は1月のD調査の結果を踏まえて確定のうえ、事前検証の実施時期に併せて2月より順次配布します）。**
- ヘッドセット発送以降に発覚したヘッドセットの不備や転入等による追加は、**使用可能なヘッドセットが調査対象生徒の1/3未満となった場合に限り、4月以降、実施前までに追加配送する**ため、コールセンターにご連絡ください。



### 3. 英語CBT実施に向けた事前準備・検証

#### ② 英語「話すこと」分散実施のための教室配置やグループ分けの実施

##### 必要な事前準備

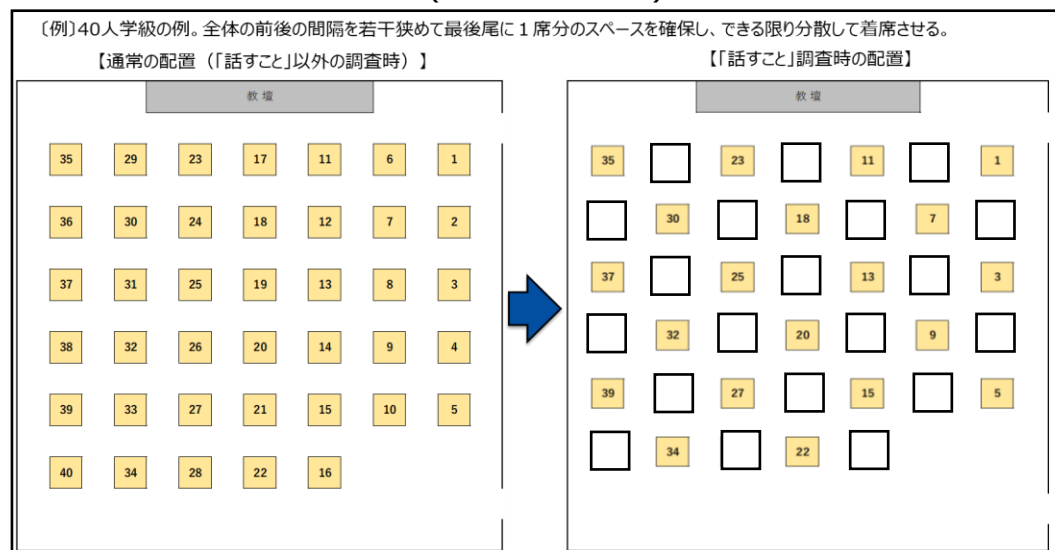
- ✓ ヘッドセット・イヤホン等の保有数やネットワーク環境等を踏まえ、中学校英語（「話すこと」調査、「話すこと」調査以外のそれぞれ）の**グループ分けを決めてください**。
- ✓ 中学校英語「話すこと」の調査において、生徒を出来る限り分散して着席させられるよう、**教室配置や待機教室についてあらかじめ決めておいてください**。

##### <「話すこと」調査の教室配置について>

- 中学校英語「話すこと」の調査は、近くの生徒の回答が聞こえたり、端末が他の生徒の音声を拾ってしまったらしないよう、出来る限り分散して着席させる必要があります。（【教室配置例】参照）

※資料2-2（P.2）再掲

##### 【話すことを実施時の教室配置例(2グループの場合)】



③ サンプル問題（中学校英語）の利用

必要な事前準備

✓ MEXCBT上に公開されている**サンプル問題に積極的に取り組んでください。**

「令和7年度以降の全国学力・学習状況調査(悉皆調査)CBTでの実施について(令和6年9月改定)」(令和6年9月文部科学省総合教育政策局参事官(調査企画担当)付学力調査室)において、「**生徒や教師が端末を用いた調査に円滑に移行できるよう、各学校においてサンプル問題にMEXCBT上で取り組めるような環境を整備する。**」としています。

これを踏まえ、文部科学省・国立教育政策研究所において  
**サンプル問題（中学校英語）を作成し、MEXCBT上に公開しました。**

**生徒や教師が端末を用いた調査を円滑に実施できるようにするため、過去に出題された問題を基にMEXCBTに搭載し、本番の調査問題で使用される可能性のある解答方式を一通り含めるようにしています。**このことをご理解いただいた上で本サンプル問題をご利用いただくようお願いします。

公開日		公開内容
第1弾	令和7年10月10日	<b>サンプル問題（通常版）【11問】</b> <b>（「読むこと」2問、「書くこと」2問、「聞くこと」3問、「話すこと」4問）</b> ※ 本番の調査問題で使用される可能性のある解答方式を含む様々な問題を準備しています。
第2弾	令和8年1月中旬頃 （予定）	<b>特別な配慮を必要とする生徒のための問題</b> <b>（拡大文字問題・ルビ振り問題・スクリプト表示問題（「話すこと」のみ）</b> ※ 内容は基本的にサンプル問題（通常版）を活用する見通しです。

**2月の事前検証では、10月に公開した合計11問のサンプル問題のうち、「書くこと」「話すこと」それぞれ1問のみを抜粋して実施予定です。**  
**普段の授業や家庭学習等において、公開している全てのサンプル問題を積極的に取り組んでいただくよう、指導をお願いします。**

## ④ タイピング等の操作練習について

## 必要な事前準備

## 【英語「書くこと」調査におけるタイピング操作】

✓ 英語「書くこと」の解答方式について、**CBT調査で英文を記述する際には、タイピングでの入力が必要**になります。生徒の資質・能力がCBT調査においても発揮できるよう、**英文のタイピング入力等に取り組む機会を設けるなど、工夫しておくことが望ましい**です。

## 【活用できる問題】

✓ 各自治体や学校にて導入されている英語学習ソフトのほか、以下も活用しながら、英文のタイピング入力に積極的に取り組んでいただくようお願いいたします。

① 「書くこと」のサンプル問題（全2問）

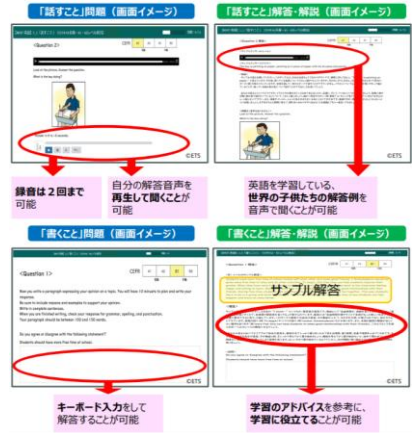
② MEXCBTに掲載されている英語問題(文部科学省外国語教育推進室掲載の問題や自治体作成問題など)

(参考) MEXCBTに搭載されている英語問題

MEXCBTには国や自治体等の公的機関等が作成した問題約4万問が搭載されています。そのうち、CBT化に向けた事前学習に活用できる問題の一例について、共有します。生徒の資質・能力がCBT調査においても発揮できるよう、「書くこと」(英文タイピング)や「話すこと」(録音問題)を中心に、積極的に活用ください。

問題の名称
全国学力・学習状況調査(令和5年、令和元年)
文部科学省_英語学習問題「MEXT 英語」
実用英語技能検定
大阪府作成「STEPS in OSAKA」
千葉県作成「ちばのやる気学習ガイド」
山口県作成「やまぐち学習支援プログラム」
愛媛県作成「英語学習成果確認テスト」
佐賀県作成「さがんば」
テスト作成サイトで教員等が作成した独自問題 (教科、学校種別、学年から検索可能)

【問題例①：英語学習問題(MEXT 英語)(文科学外国語教育推進室)】  
○技能やCEFRのレベル別の問題があり、授業進度に応じた活用が可能



- (問題例)
- タイトル
- 【MEXT 英語】1.1「書くこと」(CEFR A1未満・A1・A2相当)
- 【MEXT 英語】1.2「書くこと」(CEFR A1未満・A1・A2相当)
- 【MEXT 英語】1.3「書くこと」(CEFR A1未満・A1・A2相当)
- 【MEXT 英語】1.1「話すこと」(CEFR A1未満・A1・A2相当)
- 【MEXT 英語】1.2「話すこと」(CEFR A1未満・A1・A2相当)
- 【MEXT 英語】1.3「話すこと」(CEFR A1未満・A1・A2相当)

【問題例②：STEPS in OSAKA (大阪府)】

- 4技能5領域と到達度で区分された「大阪版CAN-DOリスト」に対応した問題搭載がされており、児童生徒の実力に応じた問題の実施や能力の把握がしやすい。
- 児童生徒が学年にとらわれず自学自習も可能となるように解答・解説も丁寧に掲載。

STEP	聞くこと Listening	読むこと Reading	話すこと (やり取り) Speaking (Interaction)	話すこと (発表) Speaking (Presentation)	書くこと Writing	CEFR-Jの目安
STEP 10	● 簡単な英語の音声を聞いて、意味を推測したり、内容を要約したりすることができる。	● 簡単な英語の文章を読んで、内容を要約したり、内容を推測したりすることができる。	● 簡単な英語のやり取りを聞いて、内容を要約したり、内容を推測したりすることができる。	● 簡単な英語の発表を聞いて、内容を要約したり、内容を推測したりすることができる。	● 簡単な英語の文章を書いて、内容を要約したり、内容を推測したりすることができる。	B2.2
STEP 9	● 簡単な英語の音声を聞いて、内容を要約したり、内容を推測したりすることができる。	● 簡単な英語の文章を読んで、内容を要約したり、内容を推測したりすることができる。	● 簡単な英語のやり取りを聞いて、内容を要約したり、内容を推測したりすることができる。	● 簡単な英語の発表を聞いて、内容を要約したり、内容を推測したりすることができる。	● 簡単な英語の文章を書いて、内容を要約したり、内容を推測したりすることができる。	B2.1
STEP 8	● 簡単な英語の音声を聞いて、内容を要約したり、内容を推測したりすることができる。	● 簡単な英語の文章を読んで、内容を要約したり、内容を推測したりすることができる。	● 簡単な英語のやり取りを聞いて、内容を要約したり、内容を推測したりすることができる。	● 簡単な英語の発表を聞いて、内容を要約したり、内容を推測したりすることができる。	● 簡単な英語の文章を書いて、内容を要約したり、内容を推測したりすることができる。	B1.2
STEP 7	● 簡単な英語の音声を聞いて、内容を要約したり、内容を推測したりすることができる。	● 簡単な英語の文章を読んで、内容を要約したり、内容を推測したりすることができる。	● 簡単な英語のやり取りを聞いて、内容を要約したり、内容を推測したりすることができる。	● 簡単な英語の発表を聞いて、内容を要約したり、内容を推測したりすることができる。	● 簡単な英語の文章を書いて、内容を要約したり、内容を推測したりすることができる。	B1.1
STEP 6	● 簡単な英語の音声を聞いて、内容を要約したり、内容を推測したりすることができる。	● 簡単な英語の文章を読んで、内容を要約したり、内容を推測したりすることができる。	● 簡単な英語のやり取りを聞いて、内容を要約したり、内容を推測したりすることができる。	● 簡単な英語の発表を聞いて、内容を要約したり、内容を推測したりすることができる。	● 簡単な英語の文章を書いて、内容を要約したり、内容を推測したりすることができる。	A2.2
STEP 5	● 簡単な英語の音声を聞いて、内容を要約したり、内容を推測したりすることができる。	● 簡単な英語の文章を読んで、内容を要約したり、内容を推測したりすることができる。	● 簡単な英語のやり取りを聞いて、内容を要約したり、内容を推測したりすることができる。	● 簡単な英語の発表を聞いて、内容を要約したり、内容を推測したりすることができる。	● 簡単な英語の文章を書いて、内容を要約したり、内容を推測したりすることができる。	A2.1

大阪府STEPS in OSAKA 読むこと 段階5①

あなたは家族と一緒に、大阪府の旅行に行き、最終日の夜、自分たちの旅の思い出を振り返りました。その思い出を、家族のみんなに話したいと思っています。思い出の話を聞かせてほしいと思います。英文を読んで、空欄の所を適切な言葉で埋めましょう。

I went to Osaka with my brother, Ryota. After travelling around Hokkaido for some days, we were at New Chitose Airport to go back to our hometown. The airplane was going to take off in 2 hours. Before then, we went to souvenir shops to buy gifts for my friends and parents.

The first shop sold sweets. There were many kinds of chocolates and cheesecakes there. I was very happy to see them because my friends and I like sweets very much. "I want to bring all of them back home!" I said. Ryota smiled bitterly and said, "Choose just what you want. We don't have so much money or time."

I got a big paper bag with many small gifts for my friends. During that time, Ryota had gotten some gifts in the other shop for his friends. We met in front of the sweets shop. "This cute little cheesecake is for Mami and..." I explained happily to Ryota what I had bought.

"Have we got enough for our friends. Let's go another shop to get gifts for mom and dad," I said. We found a shop selling smoked foods. We bought a big chunk of bacon, smoked salmon and smoked cheese for our parents.

"Well, we got all the souvenirs. We had better go to the boarding gate," I said happily. Ryota answered, "That's right. The boarding time will come soon. Uh oh, I almost forgot Mami!" He asked me to buy some caramels. "We ran back to the first shop."

読むこと 段階5②

大阪府STEPS in OSAKA 読むこと 段階5③

大阪府STEPS in OSAKA 読むこと 段階5④

大阪府STEPS in OSAKA 読むこと 段階5⑤

## ⑤ 事前検証の実施



## 必要な事前準備

- ✓ **英語調査に向けた事前検証（全中学校の全生徒）の実施**をお願いします。

**英語調査に向けた事前検証（令和8年度調査と同じ環境で類似問題を用いて検証するもの）**

【時期】令和8年2月～3月中旬の任意の日（3月に端末更新する場合は、4月に実施することも可能とする）。

→ 1月7日～16日に、D調査にて実施希望日調査を実施予定  
（各学校の希望日を踏まえ、実施日を調整する可能性がある）。

【対象】**令和8年度全国学力・学習状況調査に参加する全中学校の全生徒（現中学2年生）**

【内容】**事前検証問題プログラムをMEXCBTで実施**

- ・ サンプル問題のうち、「書くこと」1問、「話すこと」1問を抜粋した、**事前検証問題**を実施予定（1月末頃搭載予定）。
- ・ **本番調査で実際に使用する端末、ヘッドセット・イヤホンを使って、検証を行う。**
- ・ 問題の閲覧、解答の吹込み、録音データのアップロードが正常に完了できるかを確認する。  
（**本番と同様にグループを分けて、ローテーションを行う想定**）。
- ・ 1グループあたり15分程度（準備5分、実施5分、教室移動5分）

**事前検証の実施マニュアルについては、1月頃にWebシステムにおいて配信する予定**



## (参考) 事前検証の準備

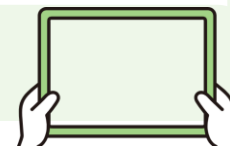
1

**本操作練習の実施日時・場所（実施教室・待機教室）等を各学校で決めてください。**

※ 本操作練習は、4月の調査本番に向けた「接続環境確認」を兼ねているため、極力本番に近い環境で実施することを検討いただようお願いします。

- ・ 4月の中学校英語3技能の調査本番を学年全体で一齐に実施する予定であれば、本操作練習も学年全体で実施することが望ましいです。
- ・ 「話すこと」の調査本番と同様のグループ数に分かれて実施するため、待機教室・教室移動の動線についてご検討ください。
- ・ 状況が許せば、4月に中学校英語の調査を実施する予定の教室で実施いただくことも考えられます。
- ・ 各学校内での状況に応じて、学級ごとでネットワーク環境が安定している教室を選んで実施することや、学級内で複数に分散して実施すること等をご検討ください。

2

**令和8年度調査で中学校英語を実施する全生徒(令和7年度中学校2年生)に、学習eポータルアカウントを割り当て、MEXCBTを利用できるようにする。**

3

**事前検証を実施する前日までに、教師用のアカウントを使用して、事前検証問題を生徒に配信する。**

4

**生徒の端末について、十分に充電されているか等、使用可能な状態であるか確認する（P9,10参照）**

5

**事前検証当日、生徒全員が端末を学校で使えるよう、生徒に適切に連絡する。**

## (参考) 事前検証の当日

1

**実施場所で、各生徒に1人1台端末で学習eポータルからMEXCBTにアクセスさせる。**

※ 多くの生徒が一齐にMEXCBTにログインすると、ネットワークやサーバに負荷がかかります。MEXCBTログインのタイミングをグループごと  
にずらすなど、ログイン時の負荷を分散する工夫をお願いします。

2

**各生徒に事前検証問題にアクセスさせ、取り組ませます。**

※ 事前検証問題については、「書くこと」1問、「話すこと」1問を実施するので、タイピングが出来るか、録音が出来るか等について、ご確  
認ください。

3

**終了画面が表示されたことを確認してください。  
本事前検証で、調査本番のネットワーク環境・実施体制に問題ないことを確認してください。**

※ 一連の過程で実施に関するトラブル（ネットワークや端末の不具合など）が生じた場合、P9,10を参照として、4月までに、各自治体  
において契約している運用保守事業者等がいる場合には、当該事業者等に対し相談を行うなど、トラブルの解消に努めてください。

※ 事前検証問題については、「書くこと」1問、「話すこと」1問のみを実施いただくため、本番の調査問題で使用する可能性のある解答方  
式を網羅しているわけではありません。サンプル問題を積極的に活用いただき、本番の調査に向けた準備を行ってください。

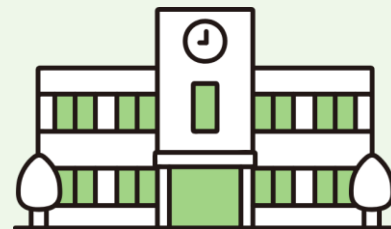


**事前検証問題は、調査本番と同等のネットワーク負荷となるよう作成しております。そのため、調査本番と  
同じ実施・分割体制で、ネットワークや端末に不具合がなく、問題を解答できることが必要です。**

▶ 詳細は、1月頃配信予定の「事前検証の実施マニュアル」を参照ください。

## **2 事前準備の詳細**

### **4. 児童質問調査に向けた事前接続テスト**





## ① 事前接続テストの実施



## 必要な事前準備

✓ **小学校における児童質問調査に向けた事前接続テスト（教員 1 名）の実施**をお願いします。

## 小学校における児童質問調査に向けた事前接続テスト（MEXCBT）

【時期】令和 8 年 2 月～3 月の任意の日

→ 当該学校の都合のよい日程で実施（接続テスト実施日については、特段の報告不要）

【対象】**令和 8 年度全国学力・学習状況調査に参加する全小学校の教員 1 名**

【内容】MEXCBT 接続テスト問題を MEXCBT で実施

- ・ MEXCBT 接続テスト問題を実施予定（2 月上旬搭載予定）。
- ・ 教員が、児童質問調査で実際に使用する児童の端末を使用して、問題の配信や調査実施、画像の閲覧が適切に行えるか確認する。

**事前接続テストの実施マニュアルについては、1 月頃に Web システムにおいて配信する予定**

# 3

## 参考資料

【参考資料 1】チェックリスト

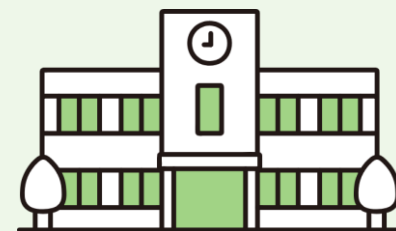
… 27

【参考資料 2】学校のネットワーク・端末の確認  
～一般的な不具合とその対応について～

… 28

【参考資料 3】MEXCBTを使用するための事前準備

… 34



**【小学校・中学校共通】 <速やかに確認を行い、不具合等について対応すること。>**

- ❑ ネットワークの不具合が無い。 (P.5,29~32)
- ❑ 各学校のネットワークは「実行帯域」を満たしているか。 (P.7,8)
- ❑ 端末の不具合が無い。 (P.9~11,33)
- ❑ Webブラウザ・OSは最新のバージョンになっているか。 (P.9)
- ❑ フィルタリングソフトの設定で、画像・動画が表示されない現象は発生していないか。 (P.9,11)
- ❑ MEXCBTにログインするための学習eポータルアカウントは全員分割り当てているか。 (P.9,14,35~40)
- ❑ MEXCBTに問題なくログインできるか。 (P.13,35~40)
- ❑ 学校で保有するヘッドセット・イヤホンが生徒端末で問題なく使用できるか。 (P.9)
- ❑ 予備端末は準備出来ているか。 (P.10)
- ❑ 端末のカメラ動作に不具合は無い。 (P.10)
- ❑ ブラウザの拡大率(100%)、文字サイズ(規定のサイズ)は正しく設定されているか。 (P.10)
- ❑ スリープ機能等の設定は解除されているか。 (P.10)

各項目について、詳細を丸括弧内のページで参照の上、山括弧内の確認時期を目安に、早めに確認してください。  
また、4月の本番調査実施前にも再度確認してください。

※ 特に、令和7年度中に端末更新を行う場合などで、事前確認時と調査当日とで使用する端末が異なる場合は、必ず更新後の端末について確認するよう留意してください。

**【小学校のみ】**

- ❑ 小学校における児童質問調査に向けた事前接続テストは行ったか。 (P.25) <R8.2,3月中>

**【中学校のみ】**

- ❑ ヘッドセット・イヤホンは、実施に必要な数(中学校英語調査対象生徒の最低1/3以上)確保できているか。問題なく使用できるか。 (P.16) <R8.2,3月(事前検証まで)>  
※ D調査の結果を踏まえ、不足分を配布します。
- ❑ 中学校英語(「話すこと」調査、「話すこと」調査以外のそれぞれ)のグループ分けは決定したか。 (P.17) <R8.2,3月(事前検証まで)>
- ❑ 中学校英語「話すこと」調査の教室配置は決定したか。 (P.17) <R8.2,3月(事前検証まで)>
- ❑ サンプル問題(中学校英語)に取り組んだか。 (P.18) <R7.10月~R8.3月>
- ❑ 英語「書くこと」調査に向けたタイピング操作練習は行ったか。 (P.19,20) <R7.10月~R8.3月>
- ❑ 英語調査に向けた事前検証は行ったか。 (P.21~23) <R8.2,3月中>

## 【参考資料 2】学校のネットワーク・端末の確認 ～一般的な不具合とその対応について～

事前に確認すべき事項 「①ネットワーク」 (各学校のネットワークの不具合の有無、各学校のネットワークの実効帯域)	...	29
課題把握の流れ	...	30
アセスメントの等で判明した課題と解決策	...	31
アセスメント等の個別事例 (抜粋)	...	32
事前に確認すべき事項 「②端末」 (端末の不具合の有無)	...	33

### 各学校のネットワークの不具合の有無

同時に全ての授業において、多数の児童生徒が高頻度で端末を活用しても、「ネットワークが遅い」「繋がりにくい」等といった不具合が起きていないかどうか

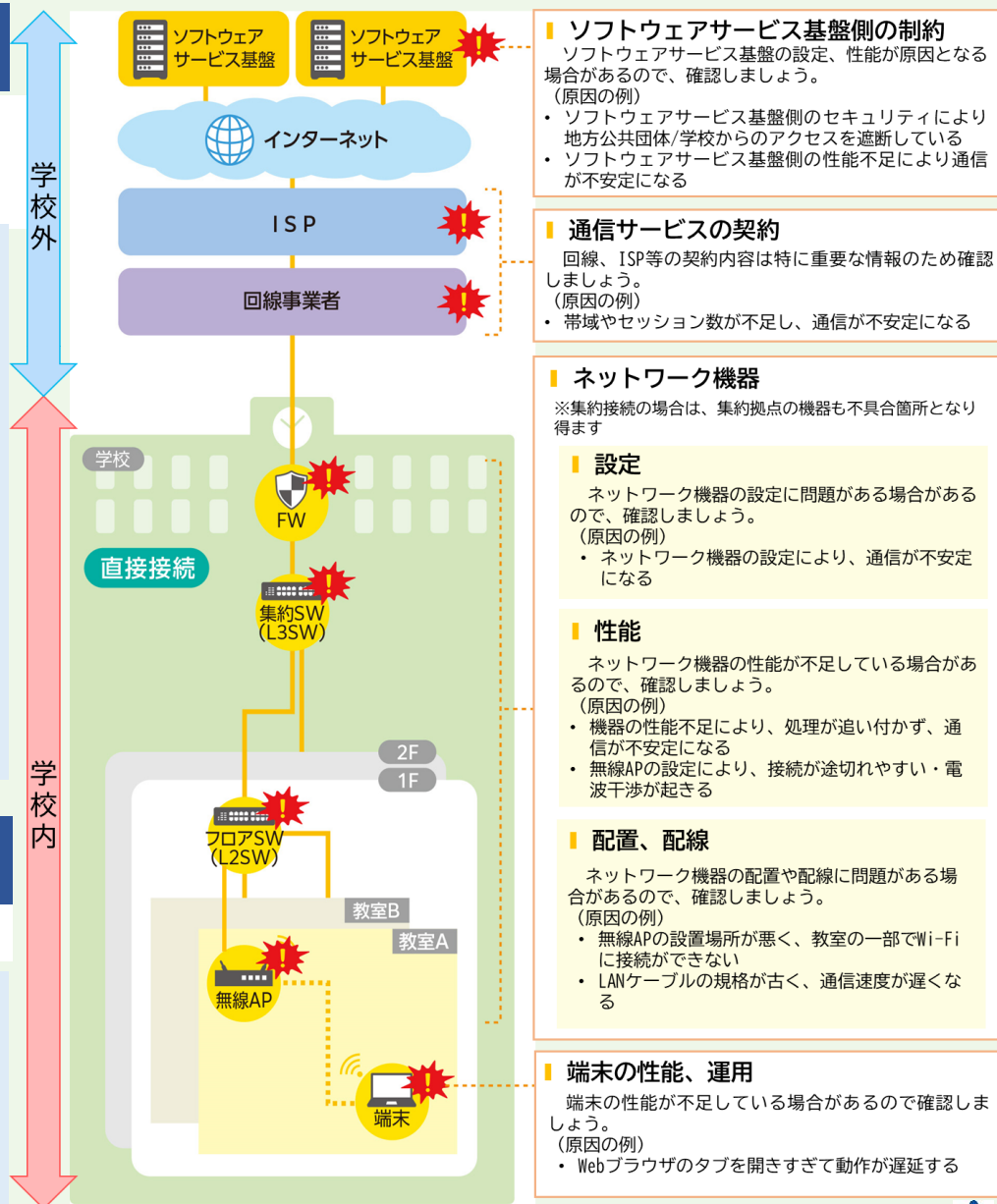
- 日常的に多数・高頻度で端末を活用していても、問題が起きていないかどうか判断基準の1つ
- CBT実施に当たっては、特に「同時に使用しても問題ないか」「セキュリティ・フィルタリングによる影響がないか」の観点を確認すること
- 具体の不具合箇所や原因については、ガイドブックの「セルフチェックリスト」と「ネットワークアセスメントの実例と解決策」を確認すること
- 学校や教育委員会による学校のネットワーク環境の不具合確認や改善策検討が難しい場合は、事業者によるネットワークアセスメントの実施も想定される

### 各学校のネットワークの実効帯域

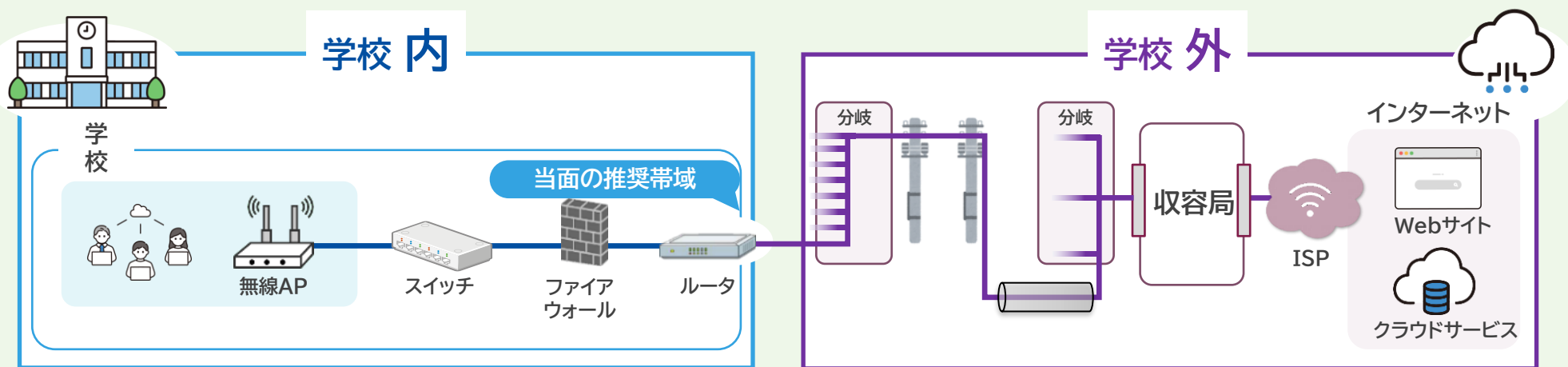
文部科学省が示した「当面の推奨帯域」を満たしているか

- 同時に全ての授業において、多数の児童生徒が高頻度で端末を活用する場合の帯域(速度)の目安として、学校規模別の「当面の推奨帯域」を設定

※水準を満たしていたなくてもCBTの実施が可能な場合もあることから、調査における最低動作環境の目安を別途確認すること  
※実測値の水準であり、ベストエフォート型の理論値ではない  
※水準を下回る場合でも授業で全く活用できないのではない

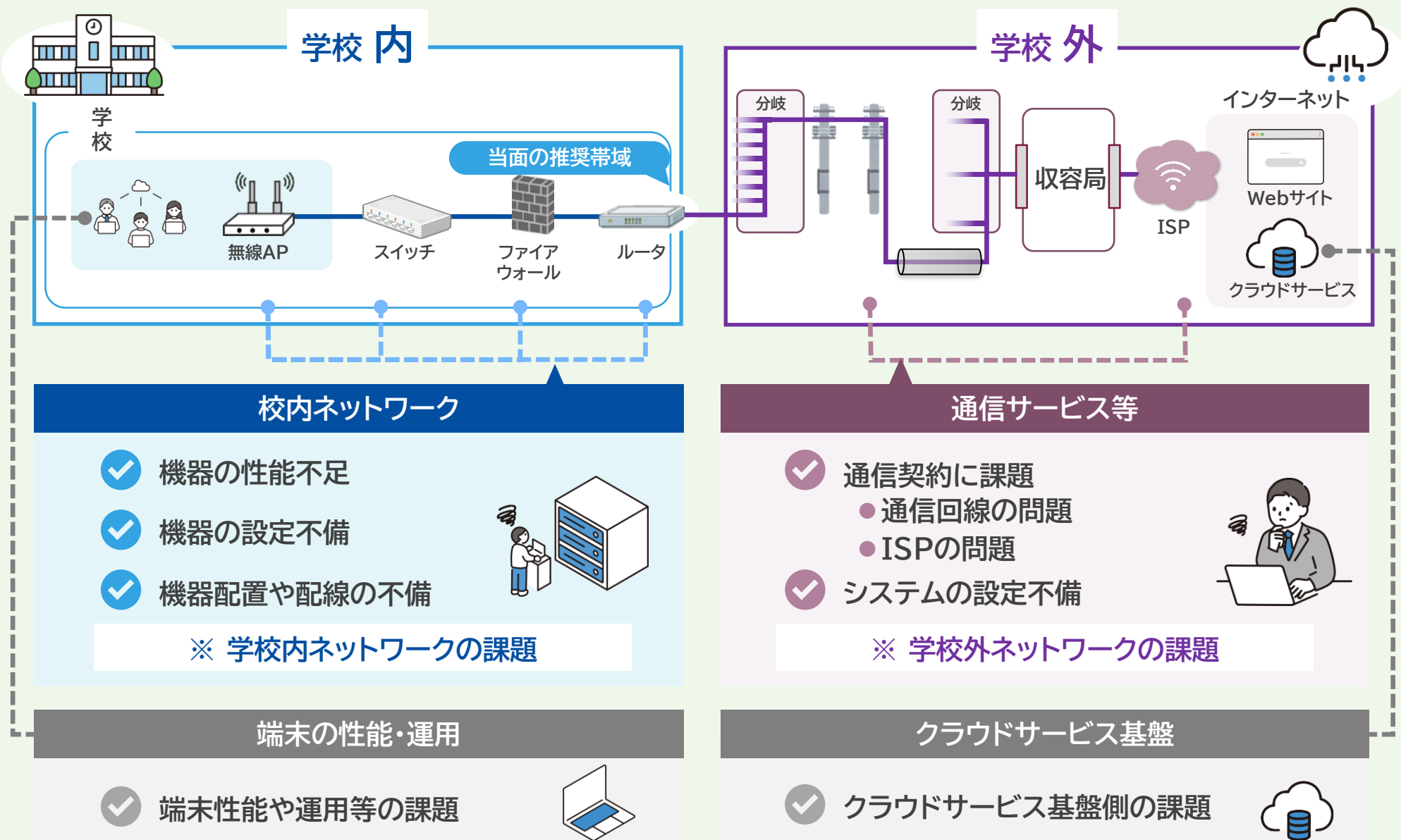


- 学校のネットワークが繋がりにくい原因は、「**学校内のネットワーク**」が原因の場合と、「**学校外のネットワーク**」が原因の場合に大別される。
- ネットワークの課題の有無は、**帯域測定**と**ユーザ体感調査**によって、大まかに把握できる。  
 ※「**当面の推奨帯域**」を満たすことは、あくまでも**必要条件**の一つ。  
 ※ユーザ体感調査により、帯域測定だけでは判明しない校内NWの不具合の把握が可能となる。



### 帯域測定とユーザ体感調査の進め方(例)

- ◆ 教育委員会等から、簡易帯域測定とユーザ体感調査を学校に依頼
- ◆ 教育委員会等において、簡易帯域測定とユーザ体感調査の結果から「ネットワーク課題把握のフローチャート」に沿って課題の有無を判定
- ◆ 簡易帯域測定の結果が「当面の推奨帯域」を満たしていない場合は、追加で校内ネットワークの入口の帯域が「当面の推奨帯域」を満たしているか確認



※詳細な事例については、「学校のネットワーク改善ガイドブック」に掲載



	概要	主な原因
事例 ⑧	<ul style="list-style-type: none"> <li>端末の通信が不安定という問題が発生していた。</li> <li>ネットワークアセスメントを実施したところ、<b>異なる無線AP同士</b> (GIGAスクール構想で導入した無線APとそれよりも前に設置していた古い無線AP) <b>で電波干渉</b>を起こしていることが判明した。</li> <li>そこで、<b>古い無線APを廃棄し、同一の無線APに統一</b>した。</li> </ul>	機器配置や配線の不備
事例 ⑫	<ul style="list-style-type: none"> <li>ネットワークアセスメントの結果、<b>電波干渉が発生しており、無線に繋がりにくい教室があることが判明</b>した。</li> <li><b>新しい規格に対応した無線APへ交換</b>及び<b>電波干渉が起こりづらい設定に変更</b>することを予定。</li> </ul>	機器の性能不足 機器の設定不備
事例 ⑯	<ul style="list-style-type: none"> <li>大規模校で一斉に動画視聴などを行うと通信が不安定となっていた。</li> <li>ネットワークアセスメントを実施したところ、通信帯域は確保されているが、<b>ISP側のセッション数の制限がボトルネックとなっている</b>ことが分かった。</li> <li>ISPをセッション数が十分な<b>固定IPアドレスのサービスに切り替える</b>ことで改善した。</li> </ul>	通信契約に課題
事例 ⑱	<ul style="list-style-type: none"> <li>デジタルドリルにおいて、問題文は表示されるが画像が表示されないという不具合があった。</li> <li>事業者に状況を確認したところ、導入している<b>フィルタリングソフトが最新のバージョンにアップデートされていない</b>ことが原因と判明し、アップデートすることで改善された。</li> </ul>	システムの設定不備

※この他の個別事例についても、「学校のネットワーク改善ガイドブック」に掲載


(教育委員会等から収集した実例を概括化し作成)





### 端末の不具合の有無

端末を日常的に活用する中で、「端末の動作が遅い」「故障していて使えない」等といった不具合が起きていないかどうか。

- 
- 教育委員会は、「学校の不具合情報が共有されているか」「不具合が解消されているか」等の確認の他、このような**不具合が起きていないかを、主体的に確認し、不具合の解消に対応**することが重要
  - 学校は、日常的に端末を使用している際に、「活用に支障をきたしていないか」「端末が故障していないか」等の**観点で確認するとともに、不具合が起きている場合は教育委員会に情報を伝える**ことが重要

### 想定される端末不具合の例

- OSのアップデートやセキュリティアップデート等の最適な配信設定がなされておらず、多数の端末に対して一斉に実施され、ネットワークや動作が重くなる。  
➡ **CBT調査の実施中や授業中には実施されないよう、配信の最適化(時間帯の調整や使用帯域の制限)を行う**
- 児童生徒が使用する端末が故障(バッテリー、画面、キーボード等)しているが、修理されていない。  
➡ **故障した端末の修理や代替端末の配備等、速やかな対応を行う**
- 端末のスペックを踏まえずに、コンピュータリソースを多く消費するソフトウェアがインストールされており、動作が重い。  
➡ **インストールするソフトウェアを見直し、削除等を行う**

※文部科学省が示している端末のスペックは、高速ネットワークを活用しクラウドにアクセスした活用を基本とした最低スペック基準。

## 【参考資料3】MEXCBTを使用するための事前準備

MEXCBT関係手続の流れ	...	35
「運用支援サイト」での利用に関する手続のイメージ	...	36
CASE 1 : 初めてMEXCBTを利用する設置者である場合	...	37
【補足】CASE 1 : 学習eポータルアカウント発行手続イメージ	...	38
CASE 2 : 新たに学校を登録する場合	...	39
CASE 3 : (新たな利用学校の登録はなく、) 児童生徒のアカウントの発行のみを追加で行う場合	...	40

①MEXCBT関係手続の流れ

- 中学校は英語・生徒質問調査、小学校は児童質問調査でMEXCBTを使用しますので、アカウントの発行が完了していない場合は、以下の手続に従って申込を行ってください。
- 設置者及び学校での作業が必要です。申込の状況によっては遅れる可能性もあるため、速やかに手続をスタートするようにしてください。

(参考) 必要な手続を確認するフローチャート

各CASE毎で準備する内容は、P.37～40を参照。

R8全国学調に参加する小学校・中学校を所管する設置者（教育委員会等）である。

↓ : YES → : NO

MEXCBTに設置者情報の登録は完了している。

**CASE1**  
初めてMEXCBTを利用する設置者である場合

新たにMEXCBTを利用する学校がある。

R8全国学調に参加する生徒にアカウントが付与されていない者がいる。  
(※なお、令和7年度「全国体力・運動能力、運動習慣等調査」(小学校5年生・中学校2年生を対象)においてMEXCBTを活用しており、これらの学年についてはアカウントは概ね発行されていることが想定される。)

作業なし

**CASE2**  
新たに利用学校を登録する場合

**CASE3**  
(新たな利用学校の登録はなく、)  
生徒のアカウントの発行のみを追加で行う場合

## ②「運用支援サイト」での利用に関する手続きのイメージ

MEXCBTに関する設置者や利用学校の登録は、運用支援サイトで行います。

(運用支援サイトURL : <https://support2.mexcbt.mext.go.jp>)



### 利用申込サイトイメージ



### 【新規申込】

- ✓ 新規申込時のユーザー名とパスワード（右の画面）は【令和7年3月26日付事務連絡「文部科学省CBTシステム（MEXCBT：メクビット）」の活用促進について（依頼）】を参照してください（右上画面の「新規申込」をクリックした際に要入力）。  
※上記事務連絡は、GIGAスクール構想担当課、全国学力・学習状況調査担当課宛てにお送りしておりました。
- ✓ 必ず利用申込ページに掲載の＜留意事項および申込の流れ＞をよくお読みいただいたうえでお申し込みください。

このサイトにアクセスするにはサインインしてください  
https://c128de1f.form.kintoneapp.com には認証が必要となります

ユーザー名

パスワード

### 【登録情報の追加・修正】

- ✓ 右上画面の「登録情報の追加・修正」をクリックして移動した次のページから各種登録・修正を行おうとすると右のログインが表示されるので、「メールアドレスでログイン」をクリックしてください。ここで入力するメールアドレスは、当該設置者内で、**MEXCBT利用申込の設置者として登録されているメールアドレスです**。（例えば他の課の担当者が最初に利用申込を行った場合、その課のメールアドレスが設定されていることがあります。設置者内を尋ねても不明な場合はMEXCBTコールセンターにお尋ねください。）
- ✓ 当該メールアドレスにログイン用のURLが記載されたメールが送信されますので、そのURLからログインできます。

ログイン

ログインすることで利用規約とプライバシーポリシーに同意したものとみなされます。

1 設置者情報 新規登録

2 利用学校 登録

4 登録情報 確認修正

利用学校登録

設置者コード	設置者名	設置者メールアドレス
9999998	文部科学省	@mext.go.jp

※画面により内容が変更されている場合があります。ログイン後は必ずこのページを一覧から表示してください。

# CASE 1 : 初めてMEXCBTを利用する設置者である場合

設置者の担当者が実施する内容

学校の担当者が実施する内容

設置者情報の  
新規申込

「[運用支援サイト](#)」MEXCBT利用申込の「新規申込」をクリックし、「1. 設置者情報新規登録」から、設置者情報、設置者連絡先等を登録してください。

利用学校の  
登録

「2. 利用学校登録」からMEXCBTを活用する学校名、学校担当者連絡先、**活用する学習eポータル**の選択等を行ってください。  
※設置者にて利用を希望する学校を取りまとめて申込みいただきます。

学校情報の  
登録

登録された学校担当者メールアドレス宛てに「学校情報登録依頼」が送信されます。学校担当者は、「1. 学校情報修正」より、利用学年やアカウント概数等を登録します。  
※アカウント概数等の登録が必須となります。

利用準備・  
通知

MEXCBT、学習eポータル事業者等による利用開始準備や通知を行います。  
※**活用する学習eポータルにより手順が異なりますので、当該事業者の指示する方法によりアカウントの発行手続きを行ってください。**  
※運用支援サイトに入力された情報をもとに、設置者、学校担当者に別途事業者等から連絡されることがありますのでご承知おきください。

MEXCBT  
活用開始

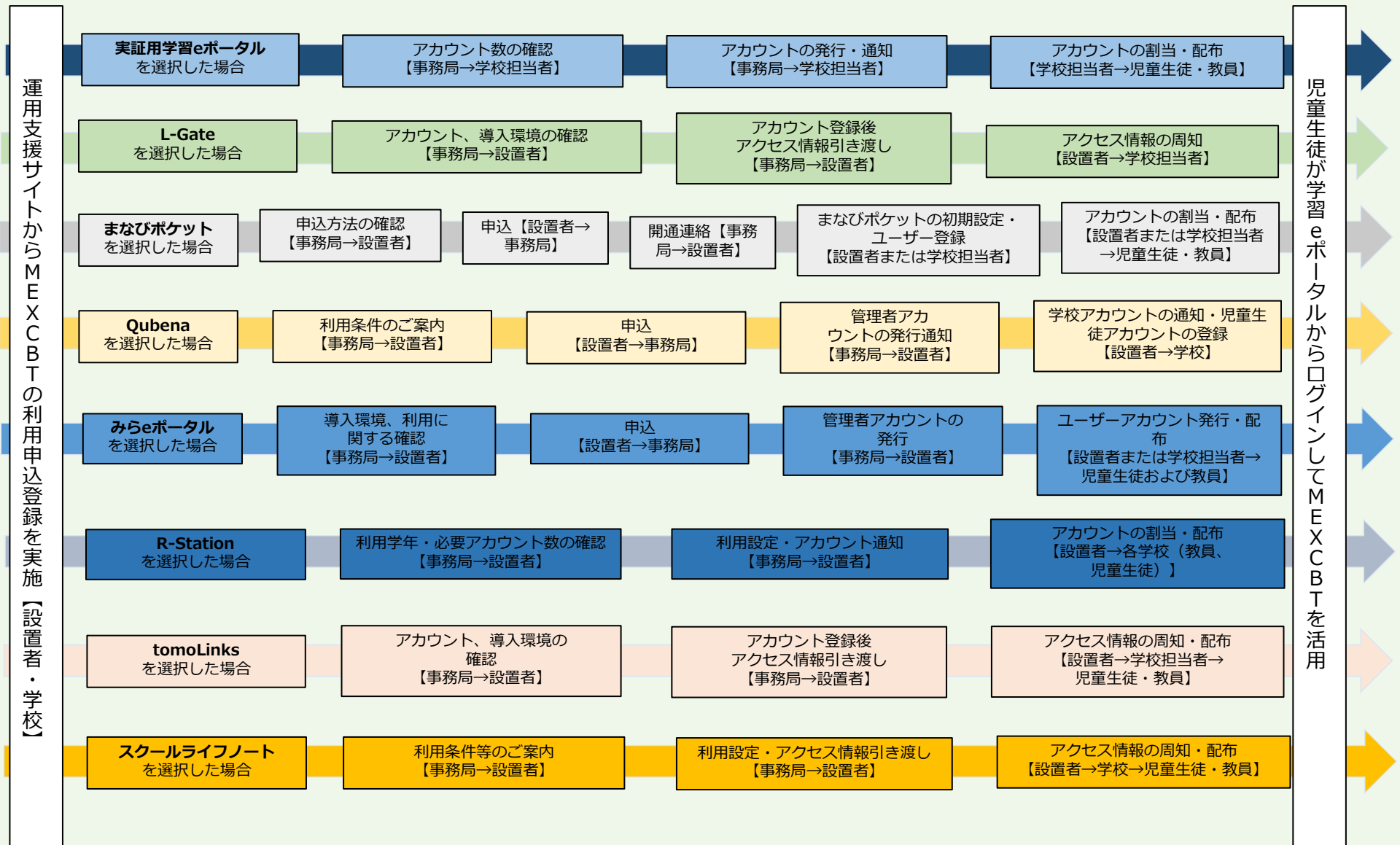
教員及び児童生徒は、学習eポータルを窓口として、MEXCBTの利用を開始します。  
※運用の手順等は「[MEXCBT運用マニュアル](#)」参照

The screenshot shows the MEXCBT web application interface. It is divided into three main sections: '設置者 (公立)' (Public Setup), '設置者 (国立・私立)' (National/Private Setup), and '学校担当者' (School Staff). Each section contains numbered buttons for different actions. In the '設置者 (公立)' section, buttons 1 (設置者情報 新規登録) and 2 (利用学校 登録) are highlighted with a red box. In the '設置者 (国立・私立)' section, button 1 (設置者情報 新規登録) is highlighted. In the '学校担当者' section, button 1 (学校情報 修正) is highlighted. A note at the bottom left states: '※公立、国立・私立の設置者と学校担当者でメニューが分かれています。上は公立学校の登録情報の追加を行う例です。' (Menus are divided for public, national/private setup and school staff. The above is an example of adding registration information for a public school.)

※公立、国立・私立の設置者と学校担当者でメニューが分かれています。  
上は公立学校の登録情報の追加を行う例です。

令和8年度新設校については、令和8年1月初めを目途に作業開始可能時期を別途連絡します。

# 【補足】CASE 1：学習eポータルアカウント発行手続きイメージ



※事務局は次の通りです。実証用学習eポータル：文部科学省委託事業者（オンライン学習システム推進コンソーシアム） L-Gate：株式会社内田洋行 まなびポケット：NTTドコモビジネス株式会社 Qubena：株式会社COMPASS

みらeポータル：株式会社ネットラーニング R-Station：株式会社両備システムズ tomoLinks：コニカミノルタ株式会社 スクールライフノート：株式会社EDUCOM

※現在、Benesse School Portal：株式会社ベネッセコーポレーション は、新規申込を受け付けていません。



## CASE 2：新たに学校を登録する場合

設置者の担当者が実施する内容

学校の担当者が実施する内容

登録情報の  
追加・修正

「[運用支援サイト](#)」MEXCBT利用申込の「登録情報の確認・修正」をクリック。

利用学校の  
登録

公立学校の設置者は「2. 利用学校登録」から利用申込を行いたい学校の情報を登録してください。  
※設置者にて利用を希望する学校を取りまとめて申込みいただきます。

学校情報の  
登録

登録された学校担当者メールアドレス宛てに「学校情報登録依頼」が送信されます。学校担当者は、「1. 学校情報修正」より、利用学年やアカウント概数等を登録します。  
※アカウント概数等の登録が必須となります。

利用準備・  
通知

MEXCBT、学習eポータル事業者等による利用開始準備や通知を行います。

※活用する学習eポータルにより手順が異なりますので、当該事業者の指示する方法によりアカウントの発行手続きを行ってください。

※運用支援サイトに入力された情報をもとに、設置者、学校担当者に別途事業者等から連絡されることがありますのでご承知おきください。

MEXCBT  
活用開始

教員及び児童生徒は、学習eポータルを窓口として、MEXCBTの利用を開始します。

※運用の手順等は「[MEXCBT運用マニュアル](#)」参照

※公立、国立・私立の設置者と学校担当者でメニューが分かれています。  
上は公立学校の登録情報の追加を行う例です。

令和8年度新設校については、令和8年1月初めを目途に作業開始可能時期を別途連絡します。

### CASE 3 : (新たな利用学校の登録はなく、) 児童生徒のアカウントの発行のみを追加で行う場合

- **児童生徒のアカウント発行の手続**は、各設置者が契約している学習eポータルによって異なります。学習eポータル導入時等に提供されたマニュアル等により手続を行ってください。
- また、**児童生徒のアカウントの割当**（どの児童生徒にどのアカウントを使用させることにするかを学校で決めること）についても、学習eポータル導入時等に提供されたマニュアル等により手続を行ってください。  
（例）STEP 1：学校で、対象児童生徒のアカウント発行状況を確認。  
STEP 2：学校で、マニュアル等を参考に、アカウントを割り当てる。

以下、参考例（実証用学習eポータル<sup>○</sup>の作業手順）

- ① 「利用者管理」を選択し、「ユーザー管理」を開きます。  
「CSVエクスポート」をクリックして、任意のCSVファイルをダウンロードします。
  - ② エクスポートしたユーザー情報CSVファイルをExcelで開き、マニュアルに従って各項目を入力し、追加するアカウント情報が記載されたCSVを完成させます。
  - ③ 完成させたCSVファイルをインポートします。
  - ④ インポート完了後、「ユーザー管理」タブで、アカウントが追加されていることを確認してください。
- ※最新の運用マニュアル第8章「年次更新(アカウント情報の変更・追加)をする」を必ず参照してください。

各学習eポータル事業者の問い合わせ連絡先は「MEXCBT運用支援サイト」に記載していますので、参照してください。

<https://support2.mexcbt.mext.go.jp/contact/>